高井戸図書館実習報告

◆期　間◆　　西暦２０２２年１０月３１日（月）～１１月２日（水）
◆学　校◆　　杉並区立杉並和泉学園　第８学年（３名）
◆仕事内容◆　配架、書架整理、交換便の処理、予約本集め、雑誌・新刊本の装備、おはなし会準備・見学、寄贈本ブッカーかけなど

職場体験後、生徒さんに感想やおすすめ本を聞いてみました。

☆楽しかったこと☆

- 予約された本を探して見つけること。
- 読みたいと思っている誰かのために本に触れられることや、知らなかった本に出会えることがすごく楽しかった。
- 予約本を棚から探したことや、様々な本に出会えたこと。

☆大変だったこと☆

- 本を、保存庫に置く本・子供が読む本や雑誌・文庫・その他の本、で分けるのが難しくて大変だった。
- 本棚を整理しつつ配架を正しくしないといけなくて、体力がすぐ削られていった。
- 返却された本を元の棚に戻すときに、しゃがむことが多く大変でした。

☆杉並区の図書館について、どう思いますか？☆

- 学校の中にある図書館よりも大きくて、また本の数も多くて、その分管理したりするのが大変そうだと思った。
- 体験を経て、より安心感がすごいなと思う。
- 取り扱っている本が多く、とても便利だと思います。

☆職場体験後の感想☆

・体験一日目は覚えることがたくさんあって忘れないか心配で、二日目もついついわすれてしまっているところがあって、三日目も初めてやることにとまどってしまい、自分の中では三日間うまく仕事をすることができなかった。だが仕事の中ではやってて楽しいと思ったところもあり、大変だと思うところもあった。
・図書館ではやってくる人がいる限り常に仕事が絶えることなく続いていって、本当に大変で同時にとても必要とされている仕事なんだなと思った。たくさんのていねいな手作業が、本を必要とする誰かのために作用していることがうれしく、良い仕事を体験させてもらえたと思う。
・普段は目にすることない図書館の仕事を知って、楽しく、とても貴重な体験でした。また、働いている方々が、利用者の方々が図書館を利用しやすいようにしていたり、本の中身を何度もチェックしていたことが印象的で、利用者である私も本をより大切に扱っていきたいと思いました。

☆私のおすすめ本＆コメント☆

『「５秒後に意外な結末」シリーズ』　桃戸 ハル／編著　学研プラス
本の中に一つ一つの物語があって、その一つ一つには誰もが予想できない意外な結末があるので、結末がどのようなものなのか予想しながら読むとおもしろい。

『怪物はささやく』　シヴォーン・ダウド／原案　パトリック・ネス／作
池田 真紀子／訳　あすなろ書房
終盤に向かうほど、絶望も希望も飽和する、心臓からゆさぶられるような物語です。
人間たちをまっすぐに見つめる怪物に、自分のことや生きることについて考えたいと強く思わされます。おすすめです。

『青空のむこう』　アレックス・シアラー／著　金原 瑞人／訳　求竜堂
この本は、主人公の感情の変化や共感できる部分など身近に感じられる面もあるので、読み進めやすく、読み終わった頃にはもう一度家族や友人に感謝の気持ちを伝えたくなるところがオススメです。